

宇治市の公共交通への取り組みについて

1. のりあい交通事業の取り組み状況

(1) 明星町：明星町自治会

H26.2～3月 3者協議

3.31 試験運行協定書締結（明星町自治会、京都京阪バス、宇治市）

4.1 「明星町地区のりあい交通」試験運行開始

4月 新ダイヤの検討、バスの愛称及びデザインの検討

6.1 ダイヤ改正、バス停の移設、新デザイン「明星 Rainbow Bus」の運行記念式典



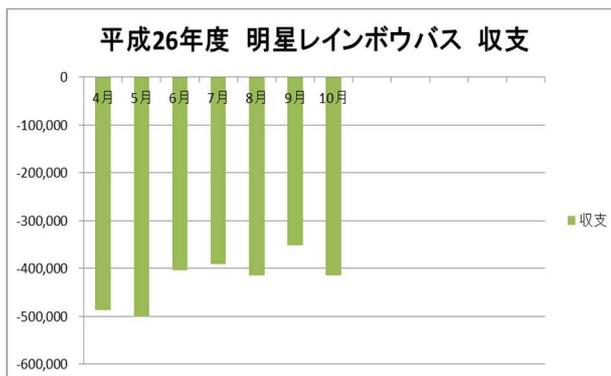
8.1～7 乗降調査を実施

9.25 三者協議（明星町自治会、京都京阪バス、宇治市）を実施

収支の確認等を行った。

観光客へのバス利用促進案内板の設置

< 明星町地区収支表 >



明星町・宇治市の負担額試算

【京都京阪バス株の場合】

運行経費(千円/日) = 運送経費(円/km) × 路線走行距離(km/日) + 適正利潤 + 消費税

37(千円/日)

運送経費 411.76(円/km)、路線走行距離 79.3(km/日)、適正利潤 5%、消費税 8%として試算。

【運行経費】 37(千円/日) × 365(日) = 13,505(千円/年)・・・

【運賃収入】 平成 26 年度試験運行の収支(11～3月分は H25 年度実績、定期利用者を含む)

約 8,739(千円/年)・・・

【欠損額】 - = 4,766(千円/年)・・・

【収支率】 / 0.65・・・

【明星町・宇治市の負担額】 市補助金 = × 3,097(千円/年)・・・

地元負担額 = - = 1,669(千円/年)

842 世帯で割ると、1 世帯 約 165(円/月)

(2) 西小倉：西小倉地域バス問題検討委員会

西小倉自治連合会の役員や地域の交通に関心のある方の集まり。

H26.3～6月 今後の進め方や地域に合った乗合運送についての意見交換

7.28 三郷町、米原市へ取り組みの視察を行った。

午前 奈良県三郷町を視察

ドア to ドア型のフルデマンド方式による乗り合いタクシー事業を実施

午後 滋賀県米原市を視察

区域型路線型のデマンドを組み合わせ、乗り合いタクシー事業を実施

8月 西小倉地域での協議

10.31 平安女学院大学の井上先生を招いての講演会

他市町村の事例を参考に、地域に合った公共交通の在り方について説明。

- ・住民主体の公共交通運行の取り組み
- ・かしこい車の使い方によるライフスタイルの転換



H26.7.28 三郷町役場にて



H26.10.31 西小倉コミセンにて

(3) 槇島町：NPO法人槇島絆の会

地元の方の集まりが主体となって話し合い。

H26.2月～3月 新路線の検討

4.14 「槇島地域の公共交通について考える」(各町内会の住民も交えてのグループワーク：参加者 30 人程度)

7.13 「槇島地域の公共交通について考える」会長説明会

槇島町における町内会全てに声かけし、会長説明会及びグル



H26.7.13 槇島コミュニティセンターにて

ーワークを行った。36 町内会のうち 16 町内会の会長等が出席。
町内会によって意見もバラバラであつた。

7～8 月 榎島町への周知チラシ

榎島町において、地域の方々全員に今の取組を知ってもらうために、「榎島にミニバスを走らせませんか」チラシを作成し、会長を経由して全戸配布したチラシには、依頼があれば各町内会への説明に行く旨明記。

8 月 榎島町下村町内会に説明会

NPO 法人榎島絆の会の辻さん一人で説明会にて説明。



「榎島にミニバスを走らせませんか」チラシ

9.27 榎島町落合町内会に説明会

122 世帯のうちから 27 名参加。独自に町内会でアンケートを取り、回収率が約 9 割という結果であった。女性の方が多くこられた。

2. 公共交通の利用促進に関する取組

(1) お出かけマップの作成：平成 26 年 6 月 1 日作成 (別紙)

各バス事業者の路線マップをわかりやすくまとめて掲載し、市のホームページ、市政だよりへの掲載。公共施設等へ配架。



H26.6.15 市政だより掲載

(2) 宇治橋通り「わんさかフェスタ」での啓発

公共交通利用促進のために「かしこい車の使い方」等のパネル設置を行った。また、お出かけマップの配布も行った。



H26.10.25 わんさかフェスタ